学校番号	1011

令和８年度　(専)美術科

教科	(専)美術	科目	(学)彫刻入門Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

彫刻刀で木を彫ることが彫刻だと思っている人が多いと思います。確かに狭い意味では間違ってはいませんが、美術の世界では、絵画や版画を 2 次元の芸術、平面作品とするならば、彫刻とは 3 次元の芸術、立体作品全般を意味します。具体的には粘土で作る塑像（人体）や金属・木材・セメント・合成樹脂・針金・石膏等様々な素材を使って作る立体造形作品を全部含めて彫刻と呼びます。授業では全部は経験できませんが、基本的な立体造形を紙や粘土・針金・石膏を使って学習します。

2　学習の到達目標

・自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などから主題を生成することができる。
・表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表すことができる。
・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成して創造的に発想し、構想を練り、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。	主体的に彫刻の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	デッサン	ケント紙で立方体を作り鉛筆デッサンをする	a:正確に立方体を制作できる b:正確に形を描写できる c:自分なりにしっかりと取り組もうとしている。	作品	作品	授業観察
	彫塑	・作りたい形をイメージし、立体にするための計画を立てる。 ・計画に基づいて油粘土で制作する	a:立体にする計画を立てられる b:計画に基づいて立体を表現できる c:意欲的に取り組もうとしている。	作品 プリント	作品 プリント	授業観察 作品 プリント
	線材構成	針金を使って基本形体と首を作る。	a:手本から必要な情報を読み取れる b:読み取った情報を使って制作できる c:最後まで諦めずに制作しようとしている。	作品	作品	授業観察
2学期	線材構成	針金を使って動きのある人体を作る。	a:作りたいイメージに必要な要素を理解している b:イメージ通りの表現になるように工夫できている c:妥協せず完成させようとしている。	作品 プリント	作品 プリント	授業観察 作品 プリント
	カービング	・石膏(石、石鹸)の塊から削り出す立体を計画する。 ・計画に基づいて制作する。	a:過不足なく計画できる b:計画通りの立体になるように工夫できる c:意欲的に制作しようとしている。	作品	作品	授業観察
3学期	カービング	2学期の続き(塊から立体を作る)	a:適宜計画の修正ができる b:魅力的な立体表現を工夫できる c:最後まで丁寧に仕上げようとしている。	作品	作品	授業観察 作品
	鑑賞	合評会	a:自他の作品から良さを発見できる b:良さを適切に表現できている c:意欲的に取り組もうとしている。	リポート	リポート	授業観察 リポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度